

## 令和3年度学校関係者評価シート(年度末評価)

令和4年3月28日

校番	091	学校名	広島県立庄原実業高等学校	校長氏名	八幡 茂見	☉・定・通	☉・分
----	-----	-----	--------------	------	-------	-------	-----

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前年までの実績を踏まえて適切な目標設定がされている。</li> <li>○新たな活動の方向性を踏まえた目標設定がされている。</li> <li>○目標値の設定について、前年度実績値より低いものがあり、前年度ぐらいには、設定した方が良いのではないか。</li> <li>○適切と思うが、スマホに係る問題行動をとりあげる必要があるのではないか。</li> <li>○評価指標の「専門科目におけるPBL実施率」の目標値と実績値の差が大きい状況にある。目標値の設定及び大きい差となった要因について検討が必要と考える。</li> <li>○評価指標の「地域との交流学習の実施回数」の目標値は、新型コロナウイルス感染症の影響が次年度も続くと想定されるので、その点を踏まえて設定されてもよいと考える。</li> <li>○専門科目におけるPBL実施率の目標化が極端に未達成の要因が具体的に示されていないので、分析をする必要を感じている。</li> <li>○概ね適切である。(6)情報発信を積極的に行うの評価指標にマスコミの出現数を1つ挙げているが、成果や改善方策にあるようにHP等、その効果の観点もあつた方が良い。</li> <li>○学校経営の現状を分析されて、目標設定から実践・評価へと具体が計画されている。</li> <li>○貴校の特性を踏まえ、生徒の卒業後を見据えた適切な設定がされていると思う。</li> </ul>
計画の進捗状況の評価の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に対し客観的な評価がされている。</li> <li>○(4)主体的で深い学びの実践は、D評価となっているが、成果が1学年全学科で実施され、主体的な学習が進んだのであれば、もっと高い評価で良いと考えられる。</li> <li>○概ね適切であると思う。</li> <li>○計画の進捗状況の評価する過程で、現状値・目標値の分子分母は、適切かどうかを確認してほしい。</li> <li>○各評価指標の目標値、実績値を基にした評価は適切であると考えられる。</li> <li>○服装検査、登校遅刻の目標と実績について2項目と生徒の割合となっており、実績値の低さが気になる所である。</li> <li>○各成果に対して適切な評価を項目毎に行っている。</li> <li>○進捗状況について、指標とされる値を重んじて評価されている。</li> <li>○目標値に対し、実績値に基づき概ね適正に評価されていると思うが、「地域と協働した教育を実践する。」の評価は、コロナ禍を考慮すると「A」でも良いと考える。</li> </ul>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各項目において適切な取組が行われている。</li> <li>○特に地域との協働した教育の実践が、社会を知り主体的な行動を促すことにより、社会人基礎力の向上につながる事が期待される。</li> <li>○生徒の個々にあつた指導で目標達成に向けて積み上げができれば良いと思う。</li> <li>○一生懸命取り組まれている先生方の姿が目につく。</li> <li>○短期(本年度)経営目標の達成に向け、生徒に身に付けさせるべき資質・能力を明確にした取組が進められている。評価がDの目標については、次年度の向上を期待する。</li> <li>○概ね目標を達成しており、取組についてもしっかりとなされていると感じる。</li> <li>○特に問題は認められない。</li> <li>○具体的に中間評価値、実績値を礎として、取組がなされ、適切である。</li> <li>○昨年度に続き、コロナ禍で活動が制限される中、積極的に取組が実践されている。特に「マスコミへの出現数」が前年値を大きく上回ったことは、高く評価できると思う。</li> </ul>
評価結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に対して数値で適切な分析が行われている。</li> <li>○時間厳守等、設定された目標数値の関係で分析しにくいものがある。</li> <li>○新しい取組が次年度でどうなっていくのか、また、目標値の設定も変わってくると思う。</li> <li>○評価結果の分析を行い、なぜそうなったのか課題を見つけている。</li> <li>○客観的な数値を基に分析されており、適切である。</li> <li>○各結果1つずつわかりやすい分析になっていると思う。成果(数値)に対して、特に未達成の場合、未達成で終了するのではなく、その分析ができたならお良いと思う。</li> <li>○各課題の抽出と分析内容は適切である。</li> <li>○目標値と実績値との確かな比較により評価されている。</li> <li>○成果と課題を客観的に分析されており、適切であると考えられる。</li> </ul>

<p>今後の改善方策の適切さ</p>	<p>B</p>	<p>○各項目において適切な改善方策が整理されている。  ○一度に全項目の改善は難しいと思う。できるところから行っていければ良いと思う。  ○評価結果の分析から、今後の改善方策を立てられている。  ○今年度の課題の改善に向けた方策が立てられている。  (1) 社会人基礎力を育成するについては、なぜ服装を整え、時間を守る必要があるのかを生徒に理解させる指導の充実を期待する。  (3) 進路実績を向上させるについては、生徒個々に合ったきめ細かい指導を実践すると記されているので具体的な取組を検討、実践されることを期待する。  ○基本的に適切に方策等示されていると思う。欲を言えば、主体的な学びの中で、「取組の活性化」を主体的にどう動き、取り組むか少し具体的に知りたい。  ○自己評価D。特にPBL実施率の向上に対して、学科毎に具体的な計画を立案するなどが望まれる。  ○その他概ね適切である。  ○改善に係る指標の設定には、質・量的な計測についての幅があると思いますが、現行においてはこの状況で適切かと思う。  ○実績値が目標値を大きく下回った項目については、もう少し踏み込んだ改善方策を検討して、次年度に生かしていただければ、なお良いと思う。</p>
<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>○基礎的なことから新しい取組、さらに地域との協働など、多岐にわたる目標の設定と具体的な取組が進められている。  ○特に、アグリビジネスアイデアソンは、外部インタビューや助言を得るなど、とても発展性のある活動だと考えられます。  ○全体的に生徒、教職員とも熱心に取組をされていると思う。卒業後、進学でも就職でもどこへ進んでも貢献できるように育てていただきたい。  ○行動が制約される中、色々と工夫しながら取組まれており、概ね適切と判断する。  ○各項目を総合的に判断し、A-3、B-2となり、概ね適切である。  ○目標・指標・計画等の設定から、進捗状況の分析、成果、評価等、適正であると思う。今後、教育展開において、質的充実に向けて更なる検討・実践が必要であると思う。  ○長期におよぶコロナ禍での学校運営に対し、教職員、生徒の皆様にご心より敬意を表します。引き続き、将来、庄原市で活躍する人材育成に期待する。</p>